|  |
| --- |
| 統一３ |

経　歴　書（　　　　　　　　）

ふ　り　が　な

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名

学　　歴

　　　　　　年　　月

職　　歴

　　　年　　月～　　年　　月

資　　格

　　　　　　年　　月

注　1　この様式は、建設業法第７条第２号イ、ロ若しくはハによる学歴、実務経験若しくは資格又は仕様書等で指定されている資格若しくは実務経験等を提示する際に使用する。

2　表題の（　　）内には、主任技術者等該当する技術者分類の名称を記入すること。

3　学歴欄には、建設業法による主任技術者等でその資格が建設業法第７条第２号のイによる

場合等、求められる資格を有することを証するのに学歴を必要とする場合のみ記載すること。

　　4　職歴欄には、職歴を記載するとともに建設業法による主任技術者等はその資格に必要な実

務経験について、仕様書等で必要な実務経験等が指定されている場合はその実務経験について、

それぞれ記載すること。

5 主任技術者等（監理技術者を除く）は、資格欄にその資格に必要な資格者証、合格証明書、免許証等について、仕様書等で特  
に定められた資格がある場合にはその資格について、それぞれ記載すること。  
また、当該資格の証明書等の写しを添付すること。  
ただし、監理技術者資格合格者証による場合、実物を提示し監督員の確認を受けた場合には、資格者証の写しの添付は不要とする。

6 監理技術者は、原則として監理技術者資格者証（監理技術者講習修了履歴）の実物を監督員に提示することとし、この経歴書の提出は不要とする。

経歴書（　　　）

作成上の注意

１．学歴は、最終学歴のみを記入する。

２．資格は、特に仕様書等で定められたものを記入する。

３．監理技術者の資格は、該当する資格を記載すること。

（建設業法第27条の18及び同法第15条第2号のイ）

特に指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けた技術者の届出の場合は、この経歴書に資格者証の写し（表・裏）を添付すること。

４．職歴及び工事経歴は、主要な経歴を記入する。

主任技術者・監理技術者・専門技術者の資格に関連する期間の工事経歴を記載すること。

（建設業法第7条第2号のイ・ロ・ハ、及び同法第15条第2号のイ・ロ・ハ）

５．現場代理人及び主任技術者等通知書と同時に提出すること。